

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年5月1日ー2024年4月30日)



但馬商事は自然環境を大切にしています

発行日 2024年7月1日

株式会社 但馬商事

目 次

1	弊社の組織概要	1
2	エコアクション21の対象範囲（認証・登録）	2
3	環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無	2
4	環境経営方針	3
5	環境経営目標	4
5-1	環境経営方針・環境経営目標・環境活動一覧表	
5-2	環境経営目標の達成状況の確認（実績）	
5-3	環境経営目標の実績評価	
6	環境経営計画	7
6-1	環境活動計画の実施状況と取組結果の評価	
6-2	次年度の取組内容について	
7	代表者による全体評価と見直しの結果	9
7-1	前回の指示への取組結果について	
7-2	今回の評価結果について	
7-3	今回の指示について	
8	記録の管理について	10

1. 組織の概要

(1) 事業所名 株式会社但馬商事

(2) 代表者 代表取締役 社長 池田 正信

(3) 環境管理責任者の連絡先

環境管理責任者 池田 正信

連絡先 稲敷工場 電話 029-892-3643

連絡先担当者:松本 富士江

E-mail:tajima-s@grace.ocn.ne.jp

(4) 所在地

稲敷工場 茨城県稲敷市沼田2634-3

第一倉庫 茨城県稲敷市蒲ヶ山37-7

第二倉庫 茨城県稲敷市沼田2643-1

稲敷工場A棟 茨城県稲敷市沼田2635-1

稲敷工場B棟 茨城県稲敷市沼田2633-1

(5) 事業内容

ポリオレフィン系樹脂の再生原料や規格外品を素材として、
合成樹脂を製造し、各種産業資材の原材料として、供給している

- ・ 資本金 1000万円
- ・ 売上高 40千万円 (2023年5月1日～2024年4月30日)
- ・ 生産量 2200t
- ・ 従業員 16 名(パート社員含む)
- ・ 工場敷地面積 16,479 m²
- ・ 営業品目 プラスチック製品の再生及び販売業
- ・ 生産能力 400t/月

(6) 創立 1977年5月

その他

「プラスチックリサイクル業のために、産業廃棄物に係る情報はありません」

1. 許可の内容 ありません
2. 処理施設 ありません
3. 処理実績 ありません
4. 処分料金 ありません

2. エコアクション21の対象範囲

以下の全組織、全活動、全従業員を対象範囲としてエコアクション21に取り組んでいます。

①組織

稲敷工場 茨城県稲敷市沼田2634-3
第一倉庫 茨城県稲敷市蒲ヶ山37-7
第二倉庫 茨城県稲敷市沼田2643-1
稲敷工場A棟 茨城県稲敷市沼田2635-1
稲敷工場B棟 茨城県稲敷市沼田2633-1

②活動

プラスチック製品の再生及び販売

③従業員 16名

3. 環境関連法規等の遵守状況の確認の結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社が遵守しなければならない環境関連法規などとして、廃棄の処理及び清掃に関する法律、消防法などがあります。

弊社では、これらの法規制遵守のために、弊社に関する法規制などの一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより、違反のないことを自主的に確認しています。

なお、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、及び関連する訴訟は過去3年間ありませんでした。

関連法規	内容	結果
フロン排出抑制法	管理の適正化	点検実施 異常なし
消防法	消防用設備の点検	点検実施 異常なし
浄化槽法	水質検査 清掃	定期保守点検実施 異常なし
オフロード法	フォークリフトの定期点検	点検実施 異常なし
廃掃法	一般産業廃棄物置場の掲示板設置	実施済

4. 環境経営方針

基本理念

地球環境問題への取り組みがますます重要になっている昨今、資源循環型社会の構築に重要な役割を担っているプラスチックリサイクルを事業としている株式会社但馬商事では、事業自体がそれらの環境問題改善の一翼を担っていることを認識しつつ地球にやさしい、人にやさしく」の事業活動を通じ、常に環境への影響を配慮して3R(Reduce(リデュース)・Reuse(リユース)・Recycle(リサイクル))の推進に最善を尽くします。また、継続的改善の取組にも力を入れていきます。

行動指針

- ①プラスチックリサイクル事業の推進を通じて循環型社会の構築に貢献します。
- ②機械の電力削減を通じて二酸化炭素排出の削減に努めます。
- ③設備及び車両の燃料削減を通じて二酸化炭素排出の削減に努めます。
- ④排水量の削減を通じて水資源の保全に努めます。
- ⑤廃棄物の削減及び再資源化の推進を通じて循環型社会の構築に貢献します。
- ⑥環境法令及び当社が受入れるその他の要求事項を遵守します。

制定	2010年5月1日
改定	2023年5月1日

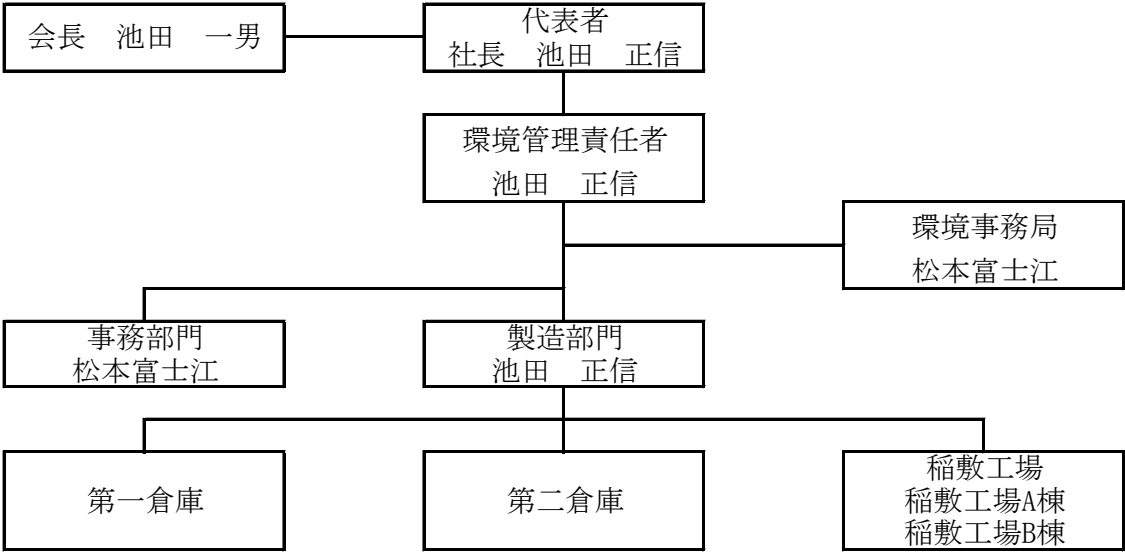
株式会社但馬商事

代表取締役

池田 正信

株式会社 但馬商事
エコアクション21実施体制図

代表者	環境管理責任者
承認	作成
正池 信田	正池 信田
2023/5/1	2023/5/1



	役割・責任・権限
代表者 代表取締役社長	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知する ③資源(人・もの・金)の用意をする ④EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤実施体制を構築し、環境管理責任者、環境委員等を任命する ⑥課題とチャンスを確認にする
環境管理責任者	①EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
事務局	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①目部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③目部門に関連する法規制等を遵守する ④目部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥目部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

5. 環境経営目標

5-1 環境経営方針・環境経営目標・環境活動一覧表

環境方針	環境目標			環境活動 (今年度目標を達成するための手段)
	テーマ	中長期目標	今年度目標	
		2024年5月 ～ 2026年4月	2024年度47期 (2023年5月～ 2024年4月)	
プラスチックリサイクル量の安定的増加	2024年度47期（2023年5月～2024年4月）	プラスチックリサイクル量の安定的増加	プラスチックリサイクル量の安定的増加	①従業員の環境意識向上（営業促進・生産意欲）
2 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会の構築）	二酸化炭素排出削減（kg-CO2）	各年度目標 前年度比 1% 削減	前年度比 1% 削減	下記による
	201 電力使用削減による二酸化炭素排出削減（kg-CO2）	各年度目標 前年度比 1% 削減	前年度比 1% 削減	①押し出し機の稼働率向上
				②生産設備の集約化の実施（稼働率のUP）
				③昼休みの消灯の励行
				④白熱電球を蛍光灯に切り替える
				⑤事務所空調温度設定 [夏 28℃・冬 20℃]
	202 化石燃料使用削減による二酸化炭素排出削減（kg-CO2）	各年度目標 前年度比 1% 削減	前年度比 1% 削減	①空ぶかし運転の制御 ②車両の点検整備の実施 ③走行ルート合理化
3 排水量の削減（水資源の保全）	総給水量の削減（節水）（m3）	各年度目標 前年度実績を越えない	前年度実績を越えない	①節水の啓発 ②水道蛇口に節水コマの設置 ③トイレや給湯器等で水道水使用の節水に努める
4 廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）	一般廃棄物の排出量削減（t）	各年度目標 前年度実績を越えない	前年度実績を越えない	①分別を徹底し、可能な限りリサイクルに回す
				②内部資料について、裏紙使用をこころがける
	事務用グリーン購入の増加	100.0%	100%	③資料の共有を図り、資料を減らす ①グリーン購入一覧表による購入
5 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守	環境関連法規等の遵守	年間1回の遵守チェック	年度内1回の遵守チェック	①法令等改正チェックと遵守監視

注）弊社ではPRTR法に該当する化学物質を使用しておりませんので、化学物質の削減目標は設定しておりません。

5. 環境経営目標

5-2 環境経営目標の達成状況の確認（実績）

環境目標		前年度 実績 (2023年)	目標値 (前年度比 1% 削減)	今年度 実績 (2024年)	達成率 実績/目標
テーマ	今年度目標 2024年度47期 (2023年5月～ 2024年4月)				
プラスチックリサイクル量の安定的増加	プラスチックリサイクル量の安定的増加	各年度目標 前年度比 1% 削減	年間3120 t 生産	年間3120 t 生産	達成
二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	1, 208, 457	1, 196, 372	1, 128, 453	94. 3%
201 電力使用削減による二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	1, 106, 518	1, 095, 453	1, 106, 838	101. 0%
202 化石燃料使用削減による二酸化炭素排出削減(kg-CO2)	前年度比1%削減	101, 939	100, 920	21, 615	21. 4%
総給水量の削減 (節水) (m3)	前年度実績を越えない	100%	86	86	100. 0%
一般廃棄物の排出量削減 (t)	前年度実績を越えない	1. 5%	1. 515	1. 44	95. 0%
事務用グリーン購入の増加	100%	－	100%	100%	達成
環境関連法規等の遵守	年度内 1 回の遵守 チェック	－	年度内 1 回の遵守 チェック	年度内 1 回の遵守 チェック	達成

二酸化炭素排出係数 シナネン R4 実排出係数 0. 729Kg-CO2/KWh

5. 環境経営目標

5-3 環境経営目標の実績評価

環境経営目標		達成率	目標の設定方法に問題はなかったか	目標の設定レベルは問題なかったか	活動計画が導き出されやすい目標だったか	この目標は次年度も継続していいか	評価	
テーマ	今年度目標						4月～9月	10月～3月
	2024年度47期（2023年5月～2024年4月）							
プラスチックリサイクル量の安定的増加	プラスチックリサイクル量の安定的増加	各年度目標 前年度比1%削減	○	○	○	○	○	○
二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	94.3%	○	○	○	○	○	○
201 電力使用削減による二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	101.0%	○	○	○	○	○	○
202 化石燃料使用削減による二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	21.4%	生産量や顧客によって、変動が大きいので、原単位比較を検討する。	生産量や顧客によって、変動が大きいので、原単位比較を検討する。	○	○	○	○
総給水量の削減 (節水) (m3)	前年度実績を越えない	100.0%	○	○	○	○	○	○
一般廃棄物の排出量削減 (t)	前年度実績を越えない	95.0%	○	○	○	○	○	○
事務用グリーン購入の増加	100%	達成	○	○	○	○	○	○
環境関連法規等の遵守	年度内1回の遵守チェック	達成	○	○	○	○	○	○

○：特に問題なし

6. 環境経営計画

6-1 環境経営計画の実施状況と取組結果の評価

環境経営目標		達成率	環境活動 (今年度目標を達成 するための手段)	スケジュール は守られ たか	責任者・担 当者は決 まっていた か	取組方法に 問題はな かったか
テーマ	今年度目標 2024年度47期 (2023年5月～ 2024年4月)					
プラスチックリ サイクル量の安 定的増加	2024年度47期 (2023年5月～ 2024年4月)	達成	①従業員の環境意向上 (営業促進・生産意 欲)	○	部門長・部 門従業員	○
二酸化炭素排出 削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	94.3%	下記による	—	—	—
201 電力使用削減に よる二酸化炭素 排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	101.0%	①押し機稼働率向 上	○	部門長・部 門従業員	○
			②生産設備の集約化の 実施 (稼働率UP)			
			③昼休みの消灯の励行			
			④白熱電球を蛍光灯に 切り替える			
			⑤事務所空調温度設定 [夏28℃・冬20℃]			
202 化石燃料使用削 減による二酸化 炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	21.4%	①空ぶかし運転の制御	○	部門長・部 門従業員	○
			②車両の点検整備の実 施			
			③走行ルート合理化			
総給水量の削減 (節水) (m3)	前年度実績を越 えない	100.0%	①節水の啓発	○	部門長・部 門従業員	○
			②水道蛇口に節水コマ の設置			
			③トイレや給湯器等で 水道水使用の節水に努 める			
一般廃棄物の排 出量削減 (t)	前年度実績を越 えない	95.0%	①分別を徹底し、可能 な限りリサイクルに回 わす	○	部門長・部 門従業員	○
			②内部資料について、 裏紙使用をこころがけ る			
			③資料の共有を図り、 資料を減らす			
事務用グリーン 購入の増加	100%	達成	①グリーン購入一覧表 による購入	○	部門長・部 門従業員	○
環境関連法規等 の遵守	年度内1回の遵 守チェック	達成	①法令等改正チェック と遵守監視	○	部門長・部 門従業員	○

○：特に問題なし

6. 環境経営計画

6-2 次年度の取組内容について

環境経営目標		達成率	環境活動 (今年度目標を達成するための手段)	次年度の取組内容について
テーマ	今年度目標 2024年度47期 (2023年5月～ 2024年4月)			
プラスチックリサイクル量の安定的増加	プラスチックリサイクル量の安定的増加	各年度目標 前年度比 1% 削減	①従業員の環境意識向上 (営業促進・生産意欲)	今年度の内容を継続する
二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	94.3%	下記による	下記による
201 電力使用削減による二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	101.0%	①押出し機の稼働率向上 ②生産設備の集約化の実施 (稼働率UP) ③昼休みの消灯の励行 ④白熱電球を蛍光灯に切り替える ⑤事務所空調温度設定[夏 28℃・冬 20℃]	今年度の内容を継続する
202 化石燃料使用削減による二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	21.4%	①空ぶかし運転の制御 ②車両の点検整備の実施 ③走行ルート of 合理化	今年度の内容を継続する
総給水量の削減 (節水) (m3)	前年度実績を越えない	100.0%	①節水の啓発 ②水道蛇口に節水コマの設置 ③トイレや給湯器等で水道水使用の節水に努める	今年度の内容を継続する
一般廃棄物の排出量削減 (t)	前年度実績を越えない	1.5%	①分別を徹底し、可能な限りリサイクルに回す ②内部資料について、裏紙使用をこころがける ③資料の共有を図り、資料を減らす	今年度の内容を継続する
事務用グリーン購入の増加	100%	達成	①グリーン購入一覧表による購入	今年度の内容を継続する
環境関連法規等の遵守	年度内1回の遵守チェック	達成	①法令等改正チェックと遵守監視	今年度の内容を継続する

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

7-1 前回の指示への取組結果について

適切に対応されたことを認めます。

7-2 今回の評価結果について

環境経営目標		達成率	環境活動 (今年度目標を達成するための手段)	目標未達成の原因 / 改善点 / 総括
テーマ	今年度目標 2024年度47期 (2023年5月～ 2024年4月)			
プラスチックリサイクル量の安定的増加	プラスチックリサイクル量の安定的増加	達成	①従業員の環境意識向上 (営業促進・生産意欲)	社業の発展が、そのまま我が国の循環型社会構築に貢献することを常に考えて行動して結果として高く評価する
二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	94.3%	下記による	下記による
201 電力使用削減による二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	101.0%	①押出し機の稼働率向上 ②生産設備の集約化の実施 (稼働率UP) ③昼休みの消灯の励行 ④白熱電球を蛍光灯に切り替える ⑤事務所空調温度設定[夏28℃・冬20℃]	我が社の二酸化炭素排出量の約99%は電力使用によるもの。ここを抑えることがポイントであることを意識、努力した結果として高く評価できる。
202 化石燃料使用削減による二酸化炭素排出削減 (kg-CO2)	前年度比1%削減	21.4%	①空ぶかし運転の制御 ②車両の点検整備の実施 ③走行ルート of 合理化	化石燃料、特に軽油の使用量のマイナスは生産量や個客への配送先によって変動が大きい。
総給水量の削減 (節水) (m3)	前年度実績を越えない	100.0%	①節水の啓発 ②水道蛇口に節水コマの設置 ③トイレや給湯器等で水道水使用の節水に努める	一定量の使用は必要である。
一般廃棄物の排出量削減 (t)	前年度実績を越えない	95.0%	①分別を徹底し、可能な限りリサイクルに回す ②内部資料について、裏紙使用をこころがける ③資料の共有を図り、資料を減らす	一定量の排出は必要。
事務用グリーン購入の増加	100%	達成	①グリーン購入一覧表による購入	決めたとおりに、しっかりやっていると評価できる。
環境関連法規等の遵守	年度内1回の遵守チェック	達成	①法令等改正チェックと遵守監視	決めたとおりに、しっかりやっていると評価できる。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

7-3 今回の指示について

評価日 2024. 6. 1

項目	変更の必要性和指示事項
環境経営方針	変更の必要性はない
環境経営目標	変更の必要性はない
環境経営計画	変更の必要性はない
環境経営システム (実施体制を含む)	変更の必要性はない。

8. 記録の管理方法

環境関連の記録の管理については、環境管理責任者が3年間保管し、以後は個人情報等のレベルと、リサイクルに配慮して方法を検討の上、廃棄することにしております。